

長野県社保協ニュース <21-7>

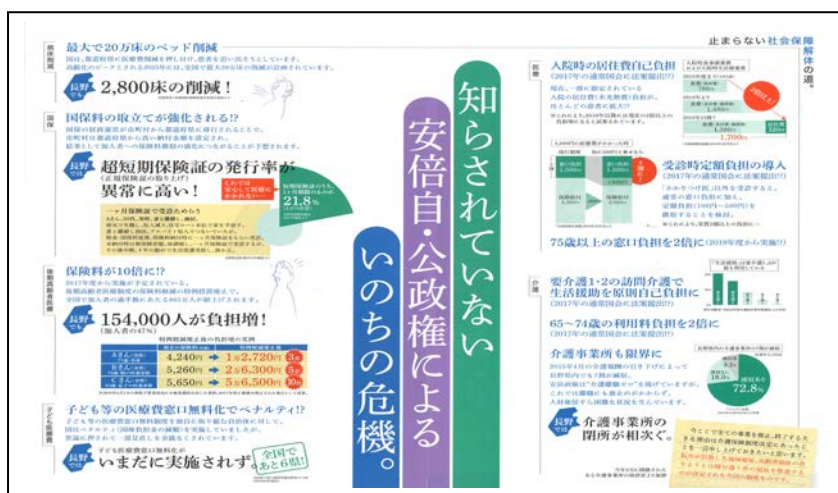
2016年8月8日(月) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

http://www.n-syaho.com

E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

知らされていない、安倍政権によるいのちの危機 ～安倍政権、参院選後各審議会を次々再開



安倍政権は、参院選挙後さっそうく医療・介護・生活保護など社会保障大改悪の具体化を社会保障審議会の各部会などで論議を開始しました。参院選では国民にまったく説明しないまま、負担増や給付制限を押し付けようとしています。

医療では、7月14日の医療保険部会で75歳以上の窓口負担の原則2割化や自己負担上限の引き上げについて議論しました。今後も入院部屋代の徴収やかかりつけ医以外の受診時の定額負担

の徴収などについても審議し、年末までに報告書をまとめる予定です。「患者追い出し」となる入院ベッドの削減・再編などをすすめるため、7月15日に開かれた医療計画の見直し検討会では、基準病床や医療機器の配置について議論し、年内にも報告書をまとめる予定です。さらに、2018年3月の廃止期限が迫っている「介護療養病床」等について、新たな転換施設などが議論されています。

介護については、7月20日介護保険部会で、「要介護1・2」の人に対する生活援助や福祉用具の貸与について原則自己負担化が議論されました。特別養護老人ホームの入所を原則「要介護3」以上にしたのに続いて、「要介護1・2」の人を保険給付から締め出そうとしています。

その他生活保護の部会や年金部会なども再開させ、給付制限や負担の強化を狙っています。

こうした状況を踏まえ、長野県社保協は、来る8月27日地域・団体代表者会議を開催し、秋の以降の活動方針を論議・確認する予定です。また、佛教大学の岡崎先生から参院選挙後における「安倍政権の医療改革と皆保険体制解体の現局面」について講演して頂きます。大勢の参加をお願いします。

長野県社保協第5回地域・団体代表者会議 記念公開講演会

医療が本当に危ない!

安倍医療改革と皆保険体制解体の現局面～参議院選挙の結果を踏まえ(仮題)

2016年8月27日(土) 13:00～15:00(予定)

松本勤労者福祉センター第2会議室

講師：佛教大学教授 岡崎 祐司氏

講師の岡崎先生は、福祉国家構想研究会に属し、医療制度の在り方等を研究しています。

尚、記念講演終了後代表者会議を開催します。